

天然腐植酸土壤改良資材

# モフミン液体®

モフミン液体は褐炭(若い石炭)を硝酸処理して抽出したフルボ酸にて作物の生長促進・活性化効果を増進します

モフミン液体® の成分分析値(財団法人日本肥糧検定協会)

腐植酸	有機炭素	窒素全量	リン酸全量	加里全量	PH 原液	PH 100倍	PH 500倍	PH 1000倍
8.14%	4.72%	1.48%	0.02%	0.02%	0.8	2.6	3.2	3.5

## 施用量・方法

対象作物	施用量・散布回数	施用方法
芝生	1~2cc/m <sup>2</sup> 、1~2回/月	500~1,000倍希釈して散布
野菜・花・果樹	1~2cc/m <sup>2</sup> 、1~2回/月	500~1,000倍希釈して散布又は灌注

農薬・液体肥料との混用は可能です。但し、アルカリ性の資材との混用は避けて下さい

注意: 取り扱い時に手に触れないようにゴム手袋を着用して下さい  
目に入ったり、皮膚についた時は流水で洗い流して下さい

## モフミン液体®の特徴

1. モフミン液体は低分子の腐植酸(フルボ酸)で、葉面散布や灌水で短時間に吸収移行されて作物の生長を促進します
2. モフミン液体は根茎発達を促進し、作物の光合成を助け品質向上に役立ちます
3. モフミン液体は植物ホルモン類似作用にて作物の生育・増産・糖度アップに役立ちます
4. モフミン液体は強酸性で、酸性土壌の維持に役立ちます
5. モフミン液体は作物の自己免疫力を高めます



4Kg × 4

特約店		輸入・総発売元	 株式会社アートレイ 〒178-0064 東京都練馬区南大泉 2-24-29 TEL 03-6805-1143 FAX 03-3922-6520 E-mail: <a href="mailto:artry@net.email.ne.jp">artry@net.email.ne.jp</a>
-----	--	---------	---

## モフミン液体の試験結果①

試験場所:新潟大学農学部  
 担当者: 担当者: 教授 伊藤道秋  
 供試作物: ホウレンソウ(コンパクト)  
 試験方法: ワゲルポット(0.05 m<sup>2</sup>)に 05年11月22日土詰め  
 '05年12月14日発芽直後に液体散布、  
 '05年12月31日、本葉展開  
 06年1月30日に調査



対照区 10cc区 30cc区  
 モフミン液散布 '06.1.30撮影

対照区	無施用
10cc 区	10cc/m <sup>2</sup> 、0.5cc/ポットを 500 倍に希釈し散布
30cc 区	30cc/m <sup>2</sup> 、1.5cc/ポットを 500 倍に希釈し散布



## モフミン液体の試験結果②

試験場所:新潟大学農学部  
 担当者: 教授 福山利範  
 対象作物: 水稻  
 試験方法: 催芽コヒカリを 1/5,000a  
 ワゲルポットに 40 粒播種(4/20)  
 床土: 育苗土  
 処理: 5月7日にモフミン 50、500、5,000 倍液  
 を各ポットに 50cc 噴霧  
 サンプルング: 6月27日に採取、地上部・根部の重量  
 調査、調査後の根を除いた茎 10 本を水に浸した  
 結果: 地上部・根部とも 50 倍 > 500 倍 > 5,000 倍  
 = 対照区の順で生育が促進されていた。調査後  
 の根を除いた茎を水に浸したところ、発根量が  
 50 倍 > 500 倍 > 5,000 倍 = 対照区の順で差がみ  
 られた



左から: 対照、50 倍液、500 倍液、5,000 倍液

## モフミン液体の試験結果④

試験場所: 天ヶ代ゴルフ倶楽部  
 対象作物: 水稻(コヒカリ)  
 試験方法: 供試試材を 100cc の三角フラスコに入れ、  
 別途育成した稲の苗(5 葉期)の根を根元から  
 切り、三角フラスコに水を入れ、根元が水に浸す状態で 4 日間培養し発根を調査した  
 試験日: 8月5日、調査日: 8月9日  
 結果:

試験区	濃度	根長		発生本数		根重	
		根長	%	本数	%	重量	%
1	2,500	44	137	48	145	0.20	142
2	5,000	55	171	51	154	0.33	242
3	10,000	51	159	43	130	0.23	164
4	20,000	55	170	45	136	0.33	236
無処理区		32	100	33	100	0.14	100

## モフミン液体の試験結果③

試験場所:新潟大学農学部  
 担当者: 教授 高橋能彦  
 供試作物: イチゴ(越後姫)  
 栽植密度: 畝幅 65 cm × 株間 20 cm、  
 前年 8 月移植

試験区:

	1 区	2 区	3 区
モフミン液体	0.1cc	1cc	10cc

試験方法: 500 倍希釈にて

4月19日

5月2日

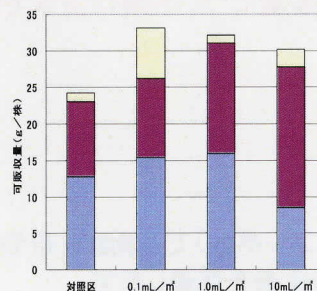
5月17日の3回散布

考察: モフミン処理により着花・結実数が増加した。

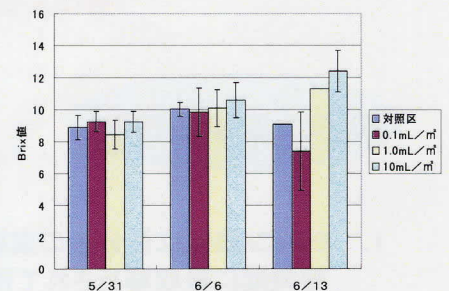
特に 2 番果以降が顕著に増加し、

増収効果が認められた。又、6月13日では

果実糖度が上昇していた



収穫量(可販)



果実糖度の推移

